

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2007年10月1日～10月5日)

発表日: 2007年9月28日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(10月1日～10月5日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	予測値	予測レンジ	前回結果	
10月1日(月)	8:50 日銀短観9月調査					
	業況判断DI・大企業製造業(最近)	+20	+21	+19～+24	+23	
	(先行き)	+19	+20	+16～+23	+22	
	大企業非製造業(最近)	+20	+21	+18～+22	+22	
	(先行き)	+21	+21	+18～+23	+23	
	中小製造業(最近)	+4	—	—	+6	
	(先行き)	+2	—	—	+4	
	中小非製造業(最近)	▲9	—	—	▲7	
	(先行き)	▲12	—	—	▲10	
	07年度設備投資・大企業(前年比)	+7.5%	+7.5%	+5.0%～+8.9%	+7.7%	
	中小企業(前年比)	▲9.2%	—	—	▲16.3%	
10:30 8月毎月勤労統計	名目賃金(前年比)	—	—	—	▲1.7%	
14:00 9月新車販売台数	乗用車(前年比)	—	—	—	+0.8%	
	軽乗用車(前年比)	—	—	—	▲7.9%	
10月2日(火)	8:50 9月短観業種別計数及び調査全容	—	—	—		
	8:50 9月マネタリーベース(前年比)	—	—	—	+0.7%	
	14:00 8月家計消費状況調査	—	—	—		
10月3日(水)						
10月4日(木)	岩田日銀副総裁挨拶					
10月5日(金)	14:00 8月景気動向指数	DI一致指数	83.3%	83.3%	72.2%～83.3%	70.0%
		DI先行指数	30.0%	30.0%	20.0%～40.0%	72.7%

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

【注目ポイント】

10月1日には日銀短観(9月調査)が公表される。業況判断DIは大企業製造業、非製造業とも前回調査比小幅悪化がコンセンサス。鉱工業生産が回復していることはプラス材料だが、原材料価格上昇によるコスト増、円高の進行、株安、米国経済の先行き不透明感の強まり等の悪材料が足を引っ張るとの見方が多い。個人消費を中心に内需が足元頼りない動きをしていることも非製造業のDIにとってマイナス要因。

設備投資計画も重要。ただし、例年、9月調査では大企業の計画修正幅はかなり小さいため、今回の調査でも大企業の修正は限定的なものになるだろう。中小企業の上方修正幅が焦点だが、足元で中小企業の業況が悪化していることもあり、大幅な改善は期待薄か。そのほか、収益計画の修正状況も設備投資の先行きを占う上で重要である。また、日本銀行が需給ギャップの代理変数として重視している雇用判断DIや設備判断DI(また、それらを合成して作成される「国内経済の稼働水準」)にも注目したい。

なお来週は、米国においても9月ISM、雇用統計などの重要指標が公表される。これらの経済指標は日本経済の先行きを見通す上でも非常に重要であるため注目しておきたい。

(主任エコノミスト: 新家 義貴)

【重要指標の当社予測とコメント】

日銀短観9月調査 業況判断DI・大企業製造業(最近) 当社予想: +20 中央値: +21

大企業製造業の業況判断DIは前回比▲3ポイントといくらか悪化しそうである。原油高・円高・家計の

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

負担増が、企業マインドに陰を落とすこととなろう。注目は、企業の2007年度の売上・収益計画の修正状況である。

(主席エコノミスト：熊野英生)

8月景気動向指数（先行指数／一致指数） 当社予想：30.0%／83.3% 中央値：30.0%／83.3%

D I 先行指数が30.0%、D I 一致指数が83.3%と予想される。D I 一致指数は5ヵ月連続の50%超えになる見込みだ。D I 先行指数は10指標中3系列が3ヵ月前比改善、7系列が悪化となっており、30.0%が予想される。D I 一致指数は9指標中7系列が改善、1系列が悪化、1系列が保合いで、83.3%が予想される。D I 一致指数と相関が高い鉱工業生産指数でも増加基調が続くとみられており、今後もD I 一致指数は50%を上回って推移していく可能性が高い。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

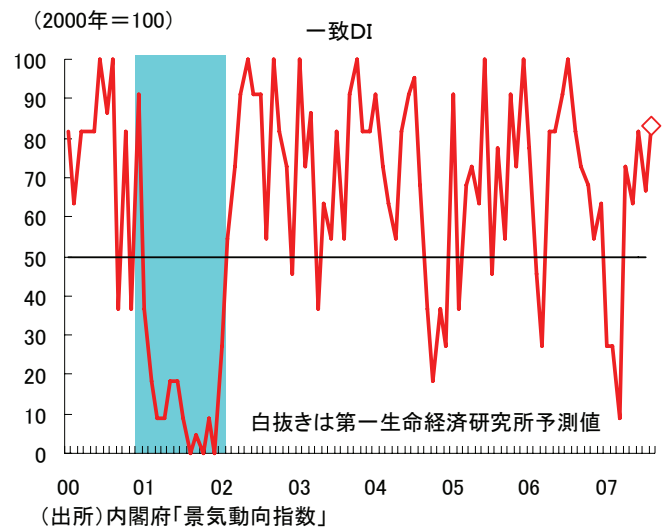
図表 1

日銀短観(2007年9月調査)の予測値

		業況判断DI			
		大企業		中小企業	
		製造業	非製造業	製造業	非製造業
2005年	9月調査	19	15	3	-11
	12月調査	21	17	7	-7
2006年	3月調査	20	18	7	-9
	6月調査	21	20	7	-6
	9月調査	24	20	6	-8
	12月調査	25	22	12	-4
2007年 見通し	3月調査	23	22	8	-6
	6月調査	23	22	6	-7
	9月調査 先行き	20	20	4	-9
	先行き	19	21	2	-12

出所：日本銀行「短期経済観測調査」

図表 2



以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

10月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10/1 9月日銀短観(8:50) 8月毎月勤労統計(10:30) 9月自動車販売(14:00) 9月軽自動車販売(14:00) (米)9月ISM製造業景況指数 (欧)9月製造業PMI(確定値)	2 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 9月マネタリーベース(8:50) 8月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)9月自動車販売 (米)8月中古住宅販売保留	3 (米)9月ISM非製造業景況指数	4 10年物価連動国債 岩田日銀副総裁挨拶 (米)8月製造業受注指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	5 8月景気動向指数(14:00) (米)9月雇用統計 (米)8月消費者信用残高
8 ※(シンガポール)7-9月期実質GDP	9 9月景気ウォッチャー(14:00) (米)FOMC議事録(9/18)	10 8月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 金融政策決定会合(~11日) ※(米)9月財政収支	11 8月機械受注統計(8:50) 8月国際収支(8:50) 9月マネーサプライ(8:50) 9月貸出・資金吸収(8:50) 10月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※10月月例経済報告 (米)9月貿易収支 (米)9月輸入物価	12 9月企業物価(8:50) 9月消費動向調査(14:00) 5年利付国債 (米)9月小売売上高 (米)10月シガン大消費者センチ(速) (米)8月企業在庫
15 8月鉱工業指数・確(13:30) 8月商業販売統計・確(13:30) (米)10月NY連銀製造業指数	16 9月投入・産出物価指数(8:50) 30年利付国債 (米)9月鉱工業生産 (米)10月NAHB住宅市場指数 (米)8月対米証券投資	17 8月第3次産業活動指数(8:50) 8月毎月勤労統計・確(10:30) 8月景気動向指数改訂(14:00) 8月建設総合統計(14:00) (米)ページブック (米)9月消費者物価 (米)9月住宅着工件数 (米)9月建設許可件数	18 10月ロイター短観(8:30) (米)9月景気先行指標 (米)10月フィラ連銀指数 ※(中国)7-9月期実質GDP	19 8月全産業活動指数(8:50) ※9月全国百貨店売上高(14:30) (英)7-9月期実質GDP
22 ※9月チェーンストア販売統計(14:00) 9月コンビニエンスストア統計(16:00) ※(韓国)7-9月期実質GDP	23 ※10月主要銀行貸出アンケート調査(8:50)	24 ※9月貿易統計(8:50) (米)9月中古住宅販売件数 (欧)10月製造業PMI(速報値)	25 9月CSP(8:50) 20年利付国債 (米)9月耐久財受注 (米)9月新築住宅販売件数 (米)9月求人広告指数 (独)10月Ifo景況感指数	26 9月消費者物価・全(8:30) 10月消費者物価・都(8:30) 9月鉱工業指数(8:50) (米)10月シガン大センチ(確)
29 9月商業販売統計(8:50)	30 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月家計調査(8:30) 2年利付国債	31 9月毎月勤労統計(10:30) 9月住宅着工統計(14:00) 10月BOJ展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 (米)FOMC (米)7-9月期実質GDP(速報値) (米)7-9月期雇用コスト指数(速) (米)10月シカゴPMI (米)9月建設支出 (欧)10月消費者物価(速)	11/1 10月自動車販売(14:00) 10月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 (米)9月個人所得・消費 (米)9月PCEデフレーター (米)10月ISM製造業指数 (米)10月自動車販売 (米)9月中古住宅販売保留	2 10月マネタリーベース(8:50) 9月家計消費状況調査(14:00) (米)10月雇用統計 (米)9月製造業受注 (欧)10月製造業PMI(確定値)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

11月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
29 9月商業販売統計(8:50)	30 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月家計調査(8:30) 2年利付国債	31 9月毎月勤労統計(10:30) 9月住宅着工統計(14:00) 10月BOJ展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 (米)FOMC (米)7-9月期実質GDP(速報値) (米)7-9月期雇用コスト指数(速) (米)10月シカゴPMI (米)9月建設支出 (欧)10月消費者物価(速)	11/1 10月自動車販売(14:00) 10月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 (米)9月個人所得・消費 (米)9月PCEデフレーター (米)10月ISM製造業指数 (米)10月自動車販売 (米)8月中古住宅販売保留	2 10月マネタリーベース(8:50) 9月家計消費状況調査(14:00) (米)10月雇用統計 (米)9月製造業受注 (欧)10月製造業PMI(確定値)
5 金融政策決定会合議事要旨(9月18・19日分)(8:50) (米)10月ISM非製造業指数	6 9月景気動向指数(14:00)	7 (米)9月消費者信用残高 (米)7-9月期非農業部門労働生産性(速)	8 9月機械受注統計(8:50) 10月マネーサプライ(8:50) 10月貸出・資金吸収(8:50) 9月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 10月景気ウォッチャー 5年利付国債 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	9 9月鉱工業指数・確(13:30) (米)9月貿易収支 (米)10月輸入物価 (米)11月ミシガン大消費者センチ(速)
12 10月企業物価(8:50) 9月国際収支(8:50) ※10月消費動向調査(14:00) 金融政策決定会合(～13日)	13 ※7-9月期GDP1次速報(8:50) 9月商業販売統計・確(13:30) 11月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※11月月例経済報告 (米)10月財政収支(独)7-9月期実質GDP (伊)7-9月期実質GDP	14 10月投入・産出物価指数(8:50) (米)10月小売売上高 (米)9月企業在庫 (仏)7-9月期実質GDP (欧)7-9月期実質GDP	15 9月第3次産業活動指数(8:50) 15年変動利付国債 (米)10月消費者物価 (米)11月NY連銀製造業指数 (米)11月フィラ連銀指数 ※(インドネシア)7-9月期実質GDP	16 金融政策決定会合議事要旨(10月10・11日分)(8:50) 9月毎月勤労統計・確(10:30) 9月建設総合統計(14:00) 9月景気動向指数改訂(14:00) (米)9月対米証券投資 (米)10月鉱工業生産 (香港)7-9月期実質GDP
19 ※10月全国百貨店売上高(14:30) (米)11月NAHB住宅市場指数	20 10月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)10月住宅着工件数 (米)10月建設許可件数 ※(台湾)7-9月期実質GDP	21 9月全産業活動指数(8:50) ※10月貿易統計(8:50) 20年利付国債 (米)FOMC議事録(10/31) (米)10月景気先行指標 (米)11月ミシガン大センチ(確)	22 ※07年9月市街地価格指数(10:00) ※10月チェーンストア販売統計(14:00) ※(マレーシア)7-9月期実質GDP	23 (欧)11月製造業PMI(速報値)
26 ※(独)11月Ifo景況感指数	27 10月CSPi(8:50)	28 10月商業販売統計(8:50) (米)ベージュブック (米)10月耐久財受注 (米)10月中古住宅販売件数	29 10月鉱工業指数(8:50) 2年利付国債 (米)7-9月期実質GDP(改定値) (米)10月新築住宅販売件数 (米)10月求人広告指数 (フィリピン)7-9月期実質GDP	30 10月消費者物価・全(8:30) 11月消費者物価・都(8:30) 10月労働力調査(8:30) 10月一般職業紹介状況(8:30) 10月家計調査(8:30) 10月住宅着工統計(14:00) (米)11月シカゴPMI (米)10月建設支出 (米)10月個人所得・消費 (米)10月PCEデフレーター (欧)11月消費者物価(速) (インド)7-9月期実質GDP

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。